

令和2年度 第3回秋田県環境教育等推進協議会 議事概要

1 日 時

令和2年11月12日（木） 午後1時30分～午後3時30分

2 場 所

秋田県議会棟2階 特別会議室

3 出席者

○委 員（敬称略）

部谷正樹、木口倫、石黒直樹、福岡真理子、中山恭幸、川村之聡 以上6名

○事務局

温暖化対策課長 中田美英子 ほか4名

4 協議事項

(1) 第2次秋田県環境教育等に関する行動計画における数値目標のあり方について

○木口座長

エコマイスター（50代以下の割合）の目標を設定した考え方はどのようなか。また、値を設定するに当たって、この値が適切だと分かるようなバグデータや根拠があれば示していただきたい。

○事務局

実情としてエコマイスターは退職した65歳以上が中心だが、人材の持続可能なサイクルのためには半分以上が50代以下となることが理想だと考えた。数値設定に関しては過去5年間の平均値を根拠に、人口減少の中においても10年後平均値と同程度の数値は確保したいという考えである。

○木口座長

エコクラブ会員数の目標は小学生の人口減少率に見合った数値になっているか。

○事務局

エコクラブ会員数は、小学生全体の1%程度である。今後、小学生人口が減少してもエコクラブ加入数は増やしたいので、この目標に設定している。

○福岡委員

エコマイスター養成塾には高校生の参加者もおり、若い受講者が学生のうちにエコマイスターとして経験を積んでいくような機会があれば、制度の持続につながるのかなと思った。環境教育支援校10校の内訳と、目標を現状維持とした理由はどうか。

○事務局

令和元年度は10校の内、小学校5校、中学校5校である。学校数も今後減少していくため、その中でも最低、現状維持はしたいという理由である。

○福岡委員

感覚的に全県で10校は数が少ないのではないかということと、一度支援を受けた教員が異動した後でも、経験を活かすことができているのかということが気になった。

○事務局

予算の上限が10校であり、今後もこの数値を継続するため、引き続き学校に呼びかけていきたい。

○木口座長

数値設定のバグデータについて、行動計画内に記載が無いと、設定根拠が分からないのではないかと。

○事務局

行動計画の「計画の進行管理」の記載に、できるだけ反映させるようにする。

○木口座長

確実に計画が遂行できるように、もし予算が付かない場合、他予算を流用することなども検討してもらいたい。

○部谷委員

高校の文化部は予算状況が大変厳しく、制度を活用したい学校もあると思うのだが、支援校制度は義務教育のみが対象なのか。また、現場としては同じ人が同じ活動をする傾向があるので、毎年新規の学校を1校増やすといった目標設定の方が良いのではないかと。

○事務局

制度は予算補助ではなく、実験用具などの物品提供のため、高校の部活動だと使いつらいかもしれない。現状では小中学校を対象としているが、高校を対象とするかについては要望があれば検討したい。また、新規校を増やすという目標設定についても検討したい。

○川村委員

管理指標は、人口減少が進む中で10年後のあるべき姿を実現させるために立てた高い目標ということで御理解いただければと思う。

○木口座長

行政側で考え抜いて出した指標であることが分かる文言を、計画に盛り込んで欲しい。管理指標はこの5つだけなのか。

○事務局

指標は、この5つですべてである。

(2) 第2次秋田県環境教育等に関する行動計画（素案）について

(第1章 計画の策定に当たって)

○石黒委員

計画策定の目的について、第1章にはっきり分かるように記載してほしい。「3計画の期間」の記載は、「第3次秋田県環境基本計画と整合性を図るため」の方が良いと思う。

○事務局

表現の仕方について検討したい。

○木口座長

文言の修正であればすぐにできるが、大幅な内容の修正になるとスケジュールに影響が及ぶので、事務局でまとめてもらえれば良いと思う。

(第2章 基本的な事項)

- 中山委員
2章の冒頭で計画の趣旨を書いているので、それにつなげて計画の目的を記載しても良いと思う。
- 木口座長
仮想空間での体験がコロナの状況により一つのテーマになっているが、そこには触れないのか。
- 事務局
仮想空間での学習もあるが、環境教育においては、現実での体験学習を重視したい。
- 木口座長
「ふるさと教育」では、すべてのESDの課題を網羅している訳では無いと思うので、ふるさと教育では教えきれない課題についてどう考えているか。
- 事務局
必ずしもふるさと教育とESDは同一ではないと考えているので、関連性という言葉を用いている。
- 中山委員
ふるさと教育で全てESDの考え方をカバーできるものではないが、教科の学習としてESDを学んでいる部分もあると思う。
- 木口座長
全てカバーしているというわけではないが、できるだけ学校教育においてESDを取り込んでいくということだろうか。
- 中山委員
その考えで良いと思う。
- 木口座長
事業者の欄にSDGsの考え方を取り入れるとあるが、事業者だけではなく広く県民全体がSDGsの考え方を取り入れるということが分かるような記載をした方が良い。
- 福岡委員
全県民が取り組むことが分かるように、「ローカルSDGs」という言葉を用いてはどうか。
- 木口座長
各国でSDGsを取り入れるときは、それぞれの立場に合わせて書き換えるということをやっているので、県も変えてよいと考える。
- 事務局
検討する。

(第3章 推進する施策に関する事項)

- 木口座長
推進する施策について、目指すべき目標の記載があった方が良い。
- 事務局
柱ごとの目標というのが立てづらく、代わりに管理指標を作った。
- 川村委員
目標の記載について少し考えたい。

- 木口座長
書き方として、現状と課題→目標→施策となった方が自然ではないか。
- 中山委員
文科省の教育振興基本計画では具体的な取組について、2, 3行の目標があつて、その下に測定指標という記載方法になっているので参考になるかもしれない。
- 中山委員
P9 (2) の「学校に求められる教育課題の増加」は(1)の問題なので、(2)の地域等における環境教育に記載しなくてよいと考える。
- 事務局
イメージとしては、県などが学生を対象に行う事業は(2)に含めているので、学校の課題の増加が事業参加への減少に繋がるという考えで書いた。記載について検討したい。
- 中山委員
P14の2 (1) 3つ目の○の内容と、2 (2) 5つめの○の内容について、できていないとまでは言い切れないと考える。
- 事務局
訂正する方向で検討する。
- 木口座長
「3 教材の整備・活用」について、配布した冊子は活用されていない実情があるので、デジタル教材の活用などを検討してはどうか。
- 事務局
これまでも配布しても現場で見られていない現状はあるので、方法について相談していききたい。
- 木口座長
計画実行のため、「水と緑の森づくり税」は活用できないか。
- 事務局
他課と相談が必要である。むしろ、担当課に先駆けてデジタル化してもらうよう働きかけると他課も追随するかもしれない。
- 福岡委員
秋田市全中学校、iPad が支給されるので、それを活用してはいかがか。
- 中山委員
動画コンテンツを県として作っていく視点があればいい。
- 木口座長
教員で動画を作成するとき、教員向けの研修はあるのか。
- 事務局
総合教育センターなどでやれるよう検討していく。
- 中山委員
どこかにデジタルコンテンツに関する記載があっても良いのではないか。
- 福岡委員
国立環境研究所等、学生向けに動画コンテンツを配信しているところもあるので、県HPにリンク付けするなどの方法もできると思う。
- 木口座長

「5 各主体の連携・協働取組の推進」には、現状やってきた取組だけを書いているのか。

○事務局

現状で実施している取組である。

○木口座長

現状予算化している事業ということだと思うが、予算の状況に関わらずできるような取組が計画に書かれていてほしい。また、計画の目玉となる箇所について、☆を付けるなど目立つよう工夫してはどうか。

○部谷委員

動画作成は良い考えであるが、県で作成する場合、動画が元で起きるトラブルなどについてリスクマネジメントの視点は重要になる。

○事務局

その視点は意識したい。

○中山委員

当課でYouTubeの作成準備をしているが、著作権や個人情報保護などに気をつけなければならない。

○木口座長

他県ではリスクマネジメントどうしているか。

○中山委員

規定などを作っている。

(3) その他

○木口座長

委員からの意見を受けて修正した箇所について、委員に情報共有するのか。

○事務局

第2回の協議会議事録要旨に委員から出た意見をまとめている。それを踏まえて今日の資料に反映させているので、欠席者にも資料提供する。

○木口座長

本日の協議事項について、この場で発言しきれなかったこと、さらに詳しく聞きたいこと、意見等があれば、11月18日、来週の水曜日を目安に事務局に対してメールなどでお伝えいただきたい。

今後、欠席委員の意見を反映させて11月25日頃までに修正案を確認していただく。各委員の承認を得た案を、12月上旬の福祉環境委員会で説明することとなる。また、12月11日から1か月間パブリックコメントを実施予定である。その結果、重大な変更がなければ2月上旬の第4回協議会は書面開催とする。参考資料（施設や活動例の紹介など）も案とともに同時作成することとしている。

○木口座長

環境基本計画の記載との整合性はどのようか。

○事務局

環境管理課と随時連絡を取りながら進めている。